

# 薬毒物中毒患者の脳内濃度を求める方法の開発 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年2月27日～2023年3月31日

## 〔研究課題〕

ヒト iPS 由来脳毛細血管内皮細胞を用いた、薬毒物中毒患者の脳内濃度推定法の確立

## 〔研究目的〕

脳には血液と脳内を隔てる血液脳関門(BBB)があります。そのため、薬物の脳内濃度は血中濃度から簡単に推定することができません。この問題を解決するために、本研究ではヒト iPS 細胞から作った BBB のモデル細胞を使い、薬毒物中毒患者の脳内濃度を推定する方法を開発します。

## 〔研究意義〕

薬毒物を大量に摂取した中毒患者を救済するには、原因となる薬毒物の特定と、中毒症状の強度の指標になる脳内薬物濃度を求めることが必要です。この研究で薬毒物中毒患者の脳内濃度を推定できるようになれば、治療のみならず、BBB の生理現象を解明することができるようになります。

## 〔対象・研究方法〕

治療のために帝京大学病院の高度救命救急センターで2018年10月16日～2019年12月31日までに採取された生体由来試料を対象とします。この研究のために新たな生体試料は採取しません。中毒患者の血中薬毒物濃度、BBB の透過性を測定し脳内濃度を数理モデルから推定します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学薬学部、帝京大学医学部、帝京大学医学部附属病院

## 〔個人情報の取り扱い〕

本研究で用いる試料・情報は、先行研究で得られたものであり、すでに匿名化されています。試料・情報は、情報管理責任者のもと、帝京大学薬学部薬物動態学研究室で管理します。

本研究では先行研究で匿名化を行った試料のみで分析を行います。そのため、試料や情報がどの方のものであったか関連付けることは不可能となっており、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合でも試料・情報の廃棄を行うことはできません。研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者:教授 出口芳春

所属: 帝京大学薬学部薬物動態学研究室

住所: 東京都板橋区加賀2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 48471]